

社会科作品募集のお知らせ

令和2年7月20日
作新学院小学部社会科

みなさんにとって楽しい夏休みをむかえました。長い休みの間は、いろいろなことにチャレンジするいい機会です。自由研究のひとつとして、社会科に関するコンクールに取り組んでみてはいかがでしょうか。興味がある人はぜひ挑戦してみてください。

※作品は2学期の始業式までに担任の先生に提出してください。

※詳しい募集要項などは小学部第1校舎1階会議室前にあります。数に限りはありませんが、必要な方にはお渡ししますのでお知らせください。夏休みの授業週間や面談時等にお持ちいただいても結構です。

1. 第9回しもつけ新聞スクラップ作品コンクール（主催：下野新聞）

<https://www.shimotsuke.co.jp/articles/-/306063>

○テーマは自由。下野新聞をはじめ栃木県内で取り扱っている日刊新聞で、2019年10月から2020年9月までの記事を使って作品を作る。

○切り抜いた新聞記事を模造紙サイズ（1～3年生はこの半分のサイズでも可）の紙にレイアウトし、①独自の見出し、②作品づくりのきっかけ・動機、③制作を通して分かったこと・まとめなどを書いて仕上げる。

○裏面右下に氏名（ふりがな）、性別、学校・学年、住所・電話番号、作品タイトルを明記した所定の応募用紙を貼り付ける。

○応募用紙は学校でもらうか、ダウンロードして使ってください。

2. 第28回「ジュニア知事さん」作文募集（主催：栃木県）

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/c05/pref/kouhou/iken/jrchiji-r2rec.html>

○4～6年生。テーマは「もし私が『知事』になったらこんなことをしてみたい」。ふるさと“とちぎ”のためにやりたいことを具体的に書いて、400字詰め原稿用紙1枚以内にまとめる。

※第1校舎会議室前に専用の応募用紙があります。市販の原稿用紙でもかまいません。

○原稿用紙おもて面の余白に題名。題名は作文のテーマ「もし私が『知事』になったら…」のとおりとせず、作品の内容がイメージできるようなものをつける。

○原稿用紙のうら面に、①学校名、②学年、③氏名（ふりがな）、④性別を明記。

3. 第11回いっしょに読もう新聞コンクール（主催：日本新聞協会）

https://nie.jp/month/contest_newspaper/2020/

○応募用紙（第1校舎会議室前にあります。以下からダウンロードすることもできます。）

https://nie.jp/month/contest_newspaper/2020/pdf/2020_issyo_form.pdf?20200402

○2019年9月9日～2020年9月8日の新聞から興味を持った記事を切りぬいて貼り付け、家族や友達に意見を聞いたり話し合った上で、応募用紙に記入。

4. 第6回「わたしたちのくらしと水」かべ新聞コンテスト（主催：セディア財団）

○わたしたちのくらしに欠かすことのできない大切な水について調べたり、学習したことなどをまとめたかべ新聞を作る。グループでの制作も可。

○作品テーマ例

- ・ステイホーム～家族でチャレンジ！節水とエコ
- ・防災と水
- ・水の歴史を調べてみよう
- ・井戸って何？むかしの水とくらし
- ・つたえよう！水の大切さ
- ・世界の国の水事情
- ・水の不思議を探してみよう
- ・学校や家で使う水はどこからくるのかな
- ・水と環境のつながりを調べてみよう
- ・水を通して考える自然のめぐみと災害 など

○作品は新聞形式のもので、模造紙・学習新聞紙・はがき新聞など大きさは自由。

○手書き・パソコン作成のどちらでも可。

○作品の裏面に応募票を貼り付ける。

- ・応募用紙は作品提出後に記入しますので、裏面に名前（グループの場合は全員の名前）を書いておいてください。

※例年、統計グラフ栃木県コンクールの作品募集をしていますが、今年度は中止となっています。

【令和2年度統計グラフ栃木県コンクールの中止について】

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/c04/pref/toukei/toukei/gurakon.html>

